

# Weekly report

MINKABU  
THE INFONOID

株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド  
東京都千代田区九段北1-8-10

## 今週の注目材料 = ウクライナ情勢緊迫化の影響は～欧州PMI

2022年2月21日

21日にユーロ圏及び加盟主要国と、英国の購買担当者景気指数(PMI)が発表されます。全般に堅調な数字が見込まれていますが、気になるのがウクライナ情勢の緊迫化の影響です。

ユーロ圏最大の経済大国ドイツは、天然ガスをロシアとのパイプラインからの供給にかなり頼っており、天然ガス輸入の半分ほどがロシアからとなっています。自然エネルギーの活用を進めるドイツですが、それだけですべての電力を賄うことは難しく、2021年の発電量の内訳(ドイツエネルギーバランス委員会の推計値)を見ますと、全体の15.2%をほどを天然ガスが占めています。また、残りの27.8%を占める褐炭・石炭や、11.8%を占める原子力に関しては、早期の停止を決めており、今後天然ガス依存がさらに進むとみられている状況です。

米国はロシアがウクライナに侵攻すると承認待ちとなっているノルドストリーム2計画を停止させると発表しており、このまま事態が深刻化すると、ドイツのエネルギー供給はかなりの問題を抱える形となるだけに、先行きの不透明感を誘う格好となっています。

とはいえ、市場予想にそうした警戒感はそれほど強く見られません。17時半に発表されるドイツのPMEは製造業が59.4、非製造業が54.0とともに前回1月から小幅上昇の見込み。好悪判断の境となる50もしっかり超える見込みとなっています。18時のユーロ圏PMIは製造業が58.6と前回とほぼ同水準。非製造業は51.7と前回から改善見込みです。予想前後の数字が出てくると、欧州経済はしっかりという期待につながります。

ユーロは直近のECB理事会以降、金融引き締め期待が強まり、年内の利上げ開始が期待されている状況だけに、ウクライナ情勢が落ち着くと買いが入りやすい地合いに。PMIの好結果がこうしたユーロ買い基調を支える格好となりそうです。

なお、18時半には英国のPMIが発表されます。こちらは製造業が57.0と前回から小幅な鈍化、非製造業が55.0と前回から小幅上昇と見込まれています。来月の英中銀金融政策会合(MPC)で0.5%の大幅利上げを見込む動きが見られるだけに、英国の景況感も気になるところ。予想を超える好結果が示されると、大幅利上げ期待を支える形でポンド高の動きが強まりそうです。

その他注目されるのが、23日のNZ中銀金融政策理事会です。

昨年10月に7年ぶりの利上げに踏み切ったNZ中銀。11月に追加利上げを行い現行の0.75%となった後、夏休み期間を経て、2月23日に今年初めてのNZ中銀理事会で、三会合連続の利上げが見込まれています。

1月27日に発表された第4四半期消費者物価指数が前年比5.9%と、第3四半期の4.9%から大きく上昇。市場予想の5.7%も超える伸びとなりました。前回11月の会合でNZ中銀はインフレが一時的に5%を超えるとの見通しを示していましたが、第4四半期であっさり大きく5%を上回ってきており、今回の理事会での追加利上げ期待に強がっています。

第4四半期の雇用統計で失業率が市場予想の3.3%を下回る3.2%となり、第3四半期の

3.3%(速報時の3.4%から修正)から低下したことも追加利上げのハードルを下げる格好となっています。

利上げ幅は0.25%が見込まれていますが、一部で0.5%の大幅利上げを見込む動きも見られます。金利先物市場動向からみた利上げ見通しは0.5%利上げを16%ほど織り込む動きとなっています。専門家の予想でも少数派ながら0.5%利上げの予想が見られます。

大方の予想通り0.25%の利上げにとどまった場合でも声明などで今後の追加利上げの見通しがしっかりと示されると期待されています。先行きの予想を見ると、年7回ある全ての会合での利上げが見込まれているだけではなく、年末時点での金利見通しが2.75%台と、現行よりも2%超も高くなっています。これは毎回の利上げだけでなく、どこかで0.5%の大幅利上げがあるという予想です。NZの金利先高観が相当に強いことがわかります。

こうした動きはNZドルにとって大きな買い材料となります。米国の金利先行き見通しや債券利回り動向、さらにはウクライナ情勢次第ですが、NZドルは底堅い動きが期待されるようです。

#### 山岡和雅 | bu PRESS編集部

1992年チェースマンハッタン銀行入行。1994年ロイヤルバンクオブスコットランド銀行（旧ナショナルウェストミンスター銀行）移籍。10年以上インターバンクディーラーとして活躍した後GCIグループに参画。2016年3月よりみんかぶ（現ミンカブ・ジ・インフォノイド）グループに入り、現在、minkabu PRESS編集部外国為替情報担当編集長。（社）日本証券アナリスト協会検定会員 主な著書に「初めての人のFX 基礎知識&儲けのルール」すばる舎、「夜17分で、毎日1万円儲けるFX」明日香出版社など

---

#### <免責事項>

本レポートは情報の提供のみを目的としています。投資に関する最終判断はご自身の責任においておこなわれるようお願いいたします。また本レポートに掲載している情報の正確性については万全を期しておりますが、人為的、機械的その他何らかの理由により誤りがある可能性があり、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドは、利用者がこれらの情報を用いて行う判断の一切について責任を負うものではありません。また、株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイドが提供するすべての情報について、許可なく転用・転載等することを固く禁じます。

#### <著作権について>

本レポートの著作権は、原則として当社(株式会社ミンカブ・ジ・インフォノイド)が保有しており、著作権法、その他の法律および条約により保護されています。本レポートご利用のお客様は、私的使用目的の複製、引用等著作権法上認められている範囲を除き、当社およびその他著作権者の許諾なく、これらの著作物を翻案、公衆送信、営利を目的とする使用等いかなる目的、態様においても利用することはできません。